



コピー サービスの設定

- コピー サービスについて (1 ページ)
- コピー サービスの制限 (2 ページ)
- GUI を使用したコピー サービスの設定 (2 ページ)
- NX-OS スタイルの CLI を使用したコピー サービスの設定 (5 ページ)
- REST API を使用してコピー サービスの設定 (7 ページ)

コピー サービスについて

すべてのトラフィックを複製する SPAN とは異なり、Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) のコピー サービス機能は、契約での仕様に従って、エンドポイント グループ間のトラフィックのうちコピーの部分だけを選択的に有効にします。ブロードキャスト、不明なユニキャストとマルチキャスト (BUM)、および契約の対象外であるコントロールプレーン トラフィックは、コピーされません。対照的に、SPAN は、エンドポイント グループ、アクセスポートまたはアップリンク ポートから発するすべてのトラフィックをコピーします。SPAN とは異なり、コピー サービスは、コピーされたトラフィックにヘッダーを追加しません。コピー サービスのトラフィックは、通常のトラフィックの転送への影響を最小限に抑えるため、スイッチ内で内部的に管理されます。

コピー サービスは、コピーされるトラフィックの宛先としてコピー クラスタを指定する、レイヤ4～レイヤ7 サービス グラフテンプレートの一部として構成されます。コピー サービスはサービス グラフ内の異なるホップにタップすることができます。たとえば、コピー サービスは、コンシューマ エンドポイント グループとファイアウォール プロバイダ エンドポイントの間のトラフィック、またはサーバのロードバランサとファイアウォールの間のトラフィックを選択することができます。コピー クラスタは、テナント間で共有することができます。

コピー サービスを使用するには、以下のタスクを実施する必要があります:

- 送信元と宛先エンドポイント グループを特定します。
- 情報カテゴリ、および契約フィルタで許可されている内容に従って、コピー 対象を指定する契約を構成します。
- ターゲット デバイスを特定するレイヤ4～レイヤ7 のコピー デバイスを構成し、それらが接続するポートを指定します。

■ コピー サービスの制限

- コピー サービスをレイヤ4～レイヤ7サービス グラフ テンプレートの一部として使用します。
- どのデバイスがサービスグラフからのトラフィックを受信するかを指定する、デバイス選択ポリシーを構成します。デバイス選択ポリシーを構成する際には、契約、サービスグラフ、コピー クラスタ、およびコピー デバイス内のクラスタ論理インターフェイスを指定します。

コピー サービスの制限

コピー サービス機能を使用する場合、次の制限が適用されます:

- コピー サービスは、N9K-9300-EX と -FX リーフ スイッチでのみサポートされます。
- ローカルおよびリモートのアナライザ ポートにコピーされるデータパス トラフィックについては、コピーされたトラフィックではサービスクラス (CoS) および差別化サービスコードポイント (DSCP) の値が保持されません。これは、コピー アクションの契約が、実際の COS または DSCP 値の変更の前後に、入力または出力 TOR のいずれかで問題となる可能性があるからです。

特定のエンドポイント入力方向での、データパスのトラフィックにポリシーを適用する際、トラフィックは、実際の着信トラフィックにポリシーが適用される前にコピーされます。これは、N9K-93108TC-EX および N9K-93180YC-EX スイッチでの ASIC の制限のためです。

- コピー サービスは、コピー クラスタごとに 1 つのデバイスだけをサポートします。
- コピー クラスタは、1 つの論理インターフェイスだけをサポートします。
- コンシューマ エンドポイントまたはプロバイダー エンドポイントでのコピー アナライザは、N9K-93108TC-EX および N9K-93180YC-EX スイッチでのみ設定できます。N9K-93128TX、N9K-9396PX、または N9K-9396TX スイッチでコピー アナライザを設定すると、エラーが発生します。
- tn-common/ctx-copy VRF インスタンスは、コピー VRF インスタンスとも呼ばれ、コピー サービスのためのシステム予約コンテキストです。コピー VRF インスタンスは、ブートアップ シーケンス中に、システムにより自動設定されます。コピー VRF インスタンスをユーザが設定または削除することはできません。
- vzAny 契約でのコピー サービスはサポートされていません。
- フローの各方向に別々のコピー デバイスを使用する場合は、2 つの異なる単方向フィルタが必要です。

GUI を使用したコピー サービスの設定

この手順では、GUI を使用して、コピー サービスを設定します。



(注) コピー デバイスを設定すると、context aware パラメータは使用されません。context aware パラメータには `single context` というデフォルト値がありますが、これは無視されます。

手順

ステップ1 1つ以上の コピー デバイスを作成します。

コピー デバイスの作成についての詳細は、[GUI を使用したコピーデバイスの作成（3 ページ）](#) を参照してください。

ステップ2 コピー サービスで使用するサービス グラフ テンプレートを作成します。

サービス グラフ テンプレートの作成についての詳細は、[GUI でサービスグラフテンプレートを構成する](#) を参照してください。

- a) 1 つ以上のサービス ノードを作成する場合は、**Device Clusters** セクションから、レイヤ 4～レイヤ 7 サービス デバイスを、コンシューマ エンドポイント グループとプロバイダー エンドポイント グループの間にドラッグします。
- b) **Device Clusters** セクションから、コピー デバイスを、任意の 2 つのオブジェクトの間にドラッグして 1 つ以上のコピー ノードを作成します。

コピー デバイスをドロップした場所が、コピー デバイスがトラフィックをコピーする、データ フロー 内のポイントとなります。

ステップ3 レイヤ 4～レイヤ 7 サービス グラフ テンプレートを適用します。

サービス グラフ テンプレートを適用する方法の詳細については、[GUI を使用したエンドポイント グループへのサービス グラフ テンプレートの適用](#) を参照してください。

GUI を使用したコピー デバイスの作成

コピー デバイスは、copy ノードを作成するコピー サービス機能の一部として使用されます。コピー のノードは、トラフィックをコピーするエンドポイント グループ間のデータ フローのどの時点を指定します。

この手順では、コピー デバイスの作成のみを行います。コピー サービス機能を使用するために必要なその他の設定は行いません。コピー サービスの設定の詳細については、[GUI を使用したコピー サービスの設定（2 ページ）](#) を参照してください。

始める前に

テナントを作成しておく必要があります。

■ GUI を使用したコピーデバイスの作成

手順

ステップ1 メニュー バーで、[Tenants] > [All Tenants] の順に選択します。

ステップ2 作業 ウィンドウで、テナントの名前をダブルクリックします。

ステップ3 [Navigation] ウィンドウで、Tenant *tenant_name* > Services > L4-L7 > Devices を選択します。

ステップ4 [Work] ウィンドウで、Actions > Create Copy Devices を選択します。

ステップ5 Create Copy Devices ダイアログ ボックスの General セクションで、次のフィールドを設定します:

名前	説明
[名前 (Name)] フィールド	コピー デバイスの名前を入力します。
Device Type ボタン	デバイス タイプです。コピー デバイスは、物理 デバイスに限られます。
Physical Domain ドロップダウンリスト	デバイスの物理 ドメインを選択します。

ステップ6 Device 1 セクションで、+ をクリックしてデバイス インターフェイスを追加し、以下のフィールドを設定して、Update をクリックします:

名前	説明
[名前 (Name)] フィールド	デバイス インターフェイスの名前を入力します。
Path ドロップダウンリスト	使用するデバイス インターフェイスのポート、ポート チャネル、または仮想 ポート チャネルを選択します。コピー デバイスは、そのポート、ポート チャネル または 仮想 ポート チャネルに接続し、そこから トラフィックをコピーします。

ステップ7 Cluster セクションで、+ をクリックしてクラスタ インターフェイスを追加し、以下のフィールドを設定して、Update をクリックします:

名前	説明
[名前 (Name)] フィールド	クラスタ インターフェイスの名前を入力します。
Concrete Interfaces ドロップダウンリスト	使用するクラスタ インターフェイスの、1つ以上の具体的なインターフェイスを選択します。
Encap フィールド	カプセル化で使用する VLAN を入力します。VLAN 名の書式は次のとおりです: vlan-# # は VLAN の ID です。次に例を示します: vlan-12

ステップ8 [Submit] をクリックします。

NX-OS スタイルの CLI を使用したコピー サービスの設定

この手順では、CLI を使用してコピー サービスを設定する例を提供します。



(注) コピー デバイスを設定すると、context aware パラメータは使用されません。context aware パラメータには single context というデフォルト値がありますが、これは無視されます。

手順

ステップ1 コピー クラスタを作成します。

例：

```
1417 cluster name Copy_1 type physical vlan-domain phys_scale_copy service COPY function none
  cluster-device Copy_1_Device_1
  cluster-interface Tap_copy vlan 3644
    member device Copy_1_Device_1 device-interface int1
      interface ethernet 1/15 leaf 104
      exit
    member device Copy_1_Device_1 device-interface int2
      interface ethernet 1/15 leaf 105
      exit
    member device Copy_1_Device_1 device-interface int3
      interface ethernet 1/20 leaf 105
      exit
    exit
  exit
```

ステップ2 抽象グラフとデバイスのコンテキストを作成し、グラフを適用します。

例：

```
1417 graph g5 contract c5
  service CP1 device-cluster-tenant t1 device-cluster Copy_1 mode OTHER service COPY
    connector copy cluster-interface Tap_copy
    exit
  exit
  connection C1 terminal consumer terminal provider copyservice CP1 connector copy
  Exit
```

ステップ3 グラフを契約を接続します。

例：

```
contract c5
scope tenant
subject Subject
access-group default both
1417 graph g5
```

NX-OS スタイルの CLI を使用したコピー サービスの設定

```
exit
Exit
```

ステップ4 契約をエンドポイント グループを接続します。

例：

```
epg epg2210
  bridge-domain member bd5
  contract consumer c5
  exit
epg epg2211
  bridge-domain member bd5
  contract provider c5
  Exit
```

例

次の例では、両側でコピー デバイスとファイアウォール サービス グラフを作成します。

```
tenant tenant_cmd_line
  1417 graph graph_fire contract fire
    service Fire device-cluster-tenant tenant_cmd_line device-cluster Fire mode FW_ROUTED

    connector consumer cluster-interface Outside_cmdline
      bridge-domain tenant tenant_cmd_line name Consumer_BD_1
      exit
    connector provider cluster-interface Inside_cmdline
      bridge-domain tenant tenant_cmd_line name Provider_BD1
      exit
    exit
  service CP2 device-cluster-tenant tenant_cmd_line device-cluster copy1 mode OTHER
  service COPY
    connector copy cluster-interface int1
    exit
  service CP3 device-cluster-tenant tenant_cmd_line device-cluster copy1 mode OTHER
  service COPY
    connector copy cluster-interface int1
    exit
  connection C1 terminal consumer service Fire connector consumer copyservice CP2
    connector copy
  connection C2 terminal provider service Fire connector provider copyservice CP3
    connector copy
  exit
Exit
```

次の例では、すべてのリンクで接続されているコピー デバイスでワンアーム モードでファイアウォールとロード バランサを作成します。

```
1417 graph Graph_LB_Firewall contract cl_firewall
  service Fire device-cluster-tenant Tenant_Firewall_LB device-cluster Firewall_1
mode
  FW_ROUTED
  connector consumer cluster-interface Outside_Firewall
    bridge-domain tenant Tenant_Firewall_LB name BD1_Consumer
    exit
  connector provider cluster-interface Inside_Firewall
```

```

        bridge-domain tenant Tenant_Firewall_LB name BD2_Provider
        exit
      exit
    service LB device-cluster-tenant Tenant_Firewall_LB device-cluster LB_1 mode
ADC_ONE_ARM
  connector consumer cluster-interface LB_Inside
  bridge-domain tenant Tenant_Firewall_LB name BD2_Provider
  exit
  connector provider cluster-interface LB_Inside
  bridge-domain tenant Tenant_Firewall_LB name BD2_Provider
  exit
  Exit
service CP6 device-cluster-tenant Tenant_Pass2 device-cluster Copy_pass2 mode OTHER

  service-type COPY
  connector copy cluster-interface tap_copy
  exit
  Exit
service CP7 device-cluster-tenant Tenant_Pass2 device-cluster Copy_pass2 mode OTHER

  service-type COPY
  connector copy cluster-interface tap_copy
  exit
  Exit
service CP8 device-cluster-tenant Tenant_Pass2 device-cluster Copy_pass2 mode OTHER

  service-type COPY
  connector copy cluster-interface tap_copy
  exit
  exit
connection C1 terminal consumer service Fire connector consumer copyservice CP6
  connector copy
connection C2 intra-service service1 Fire connector1 provider service2 LB connector2

  consumer copyservice CP7 connector copy
connection C3 terminal provider service LB connector provider copyservice CP8
  connector copy
  exit
exit

```

REST API を使用してコピー サービスの設定

コピー デバイスは、copy ノードを作成するコピー サービス機能の一部として使用されます。コピーのノードは、トライフィックをコピーするエンドポイント グループ間のデータ フローのどの時点を指定します。

この手順では、REST API を使用してコピー サービスを設定する例を提供します。



(注) コピー デバイスを設定すると、context aware パラメータは使用されません。context aware パラメータには single context というデフォルト値がありますが、これは無視されます。

始める前に

テナントを作成しておく必要があります。

手順

ステップ1 コピー デバイスを作成します。

例 :

```
<vnsLDevVip contextAware="single-Context" devtype="PHYSICAL" funcType="None" isCopy="yes"
managed="no" mode="legacy-Mode" name="copy0" svcType="COPY" trunking="no">
<vnsRsALDevToPhysDomP tDn="uni/phys-phys_scale_copy"/>
<vnsCDev devCtxLbl="" name="copy_Dyn_Device_0" vcenterName="" vmName="">
<vnsCIf name="int1" vnicName="">
<vnsRsCIfPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-104/pathep-[eth1/15]"/>
</vnsCIf>
<vnsCIf name="int2" vnicName="">
<vnsRsCIfPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-105/pathep-[eth1/15]"/>
</vnsCIf>
</vnsCDev>
<vnsLIf encaps="vlan-3540" name="TAP">
<vnsRsCIfAttN tDn="uni/tn-t22/lDevVip-copy0/cDev-copy_Dyn_Device_0/cIf-[int2]"/>
<vnsRsCIfAttN tDn="uni/tn-t22/lDevVip-copy0/cDev-copy_Dyn_Device_0/cIf-[int1]"/>
</vnsLIf>
</vnsLDevVip>
```

ステップ2 論理デバイス コンテキスト(デバイス選択ポリシーとも呼ばれる)を作成します。

例 :

```
<vnsLDevCtx ctrctNameOrLbl="c0" descr="" graphNameOrLbl="g0" name="" nodeNameOrLbl="CP1">
<vnsRsLDevCtxToLDev tDn="uni/tn-t22/lDevVip-copy0"/>
<vnsLIfCtx connNameOrLbl="copy" descr="" name="">
<vnsRsLIfCtxToLIf tDn="uni/tn-t22/lDevVip-copy0/lIf-TAP"/>
</vnsLIfCtx>
</vnsLDevCtx>
```

ステップ3 作成し、コピーするグラフテンプレートを適用します。

例 :

```
<vnsAbsGraph descr="" name="g0" ownerKey="" ownerTag="" uiTemplateType="UNSPECIFIED">
<vnsAbsTermNodeCon descr="" name="T1" ownerKey="" ownerTag="">
<vnsAbsTermConn attNotify="no" descr="" name="1" ownerKey="" ownerTag="">
<vnsInTerm descr="" name="">
<vnsOutTerm descr="" name="">
</vnsAbsTermNodeCon>
<vnsAbsTermNodeProv descr="" name="T2" ownerKey="" ownerTag="">
<vnsAbsTermConn attNotify="no" descr="" name="1" ownerKey="" ownerTag="">
<vnsInTerm descr="" name="">
<vnsOutTerm descr="" name="">
</vnsAbsTermNodeProv>
<vnsAbsConnection adjType="L2" connDir="provider" connType="external" descr="" name="C1"
ownerKey="" ownerTag="" unicastRoute="yes">
<vnsRsAbsConnectionConns tDn="uni/tn-t22/AbsGraph-g0/AbsTermNodeCon-T1/AbsTConn"/>
<vnsRsAbsConnectionConns tDn="uni/tn-t22/AbsGraph-g0/AbsTermNodeProv-T2/AbsTConn"/>
<vnsRsAbsCopyConnection tDn="uni/tn-t22/AbsGraph-g0/AbsNode-CP1/AbsFConn-copy"/>
</vnsAbsConnection>
<vnsAbsNode descr="" funcTemplateType="OTHER" funcType="None" isCopy="yes" managed="no"
name="CP1" ownerKey="" ownerTag="" routingMode="unspecified" sequenceNumber="0"
shareEncap="no">
<vnsAbsFuncConn attNotify="no" descr="" name="copy" ownerKey="" ownerTag="">
<vnsRsNodeToLDev tDn="uni/tn-t22/lDevVip-copy0"/>
```

```
</vnsAbsNode>
</vnsAbsGraph>
```

ステップ4 エンドポイントのグループに関連付けられている契約でコピー グラフに関係を定義します。

例 :

```
<vzBrCP descr="" name="c0" ownerKey="" ownerTag="" prio="unspecified" scope="tenant"
  targetDscp="unspecified">
  <vzSubj consMatchT="AtleastOne" descr="" name="Subject" prio="unspecified"
    provMatchT="AtleastOne" revFltPorts="yes" targetDscp="unspecified">
      <vzRsSubjFiltAtt directives="" tnVzFilterName="default"/>
      <vzRsSubjGraphAtt directives="" tnVnsAbsGraphName="g0"/>
    </vzSubj>
  </vzBrCP>
```

ステップ5 エンドポイント グループを契約を接続します。

例 :

```
<fvAEPg name="epg2860">
  <fvRsCons tnVzBrCPName="c0"/>
  <fvRsBd tnFvBDName="bd0"/>
  <fvRsDomAtt tDn="uni/phys-phys_scale_SB"/>
  <fvRsPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-104/pathep-[PC_int2_g1]" encap="vlan-2860"
    instrImedcy="immediate"/>
</fvAEPg>
<fvAEPg name="epg2861">
  <fvRsProv tnVzBrCPName="c0"/>
  <fvRsBd tnFvBDName="bd0"/>
  <fvRsDomAtt tDn="uni/phys-phys_scale_SB"/>
  <fvRsPathAtt tDn="topology/pod-1/paths-105/pathep-[PC_policy]" encap="vlan-2861"
    instrImedcy="immediate"/>
</fvAEPg>
```

REST API を使用してコピー サービスの設定

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。